

2 学年だより

夢の宅配便

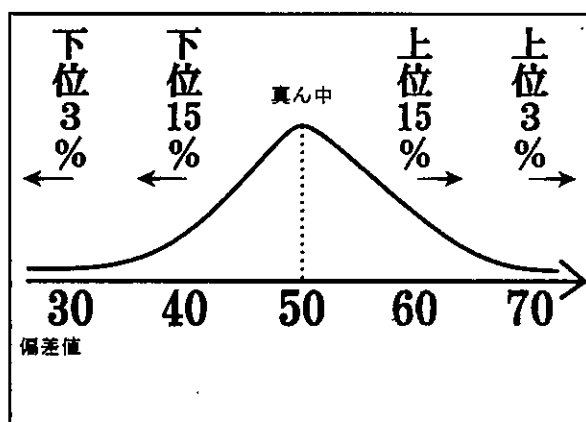
2 年学年主任

水野 喜代治

「実力試験を返却…各教科の偏差値を見てください。」

先日、実施した実力試験の結果を配付しました。それぞれの教科の偏差値を確認してください。得点は、出題された問題が易しければ高い得点がとれますし、難しい問題ならば高い得点はとれません。ですので、自分が何点を取ったのかではなく、偏差値を見てください。そのテストの得点を高い順に並べて、ちょうど真ん中ぐらいに位置していると偏差値は50となります。例えば、社会の問題が難しく40点とそのテストの真ん中ぐらいの得点だとすると40点で偏差値は50になりますし、英語のテストが易しく70点でちょうど真ん中ぐらいだとすると68点取っても偏差値は48となり50を切ってしまいます。

今回の模試で、城山中学校の2年生の5教科の偏差値は52でした。このテストを受験した神奈川県2年生全体の真ん中より高い位置にいるということを意味しています。各自、教室にある「2022 高校受験案内」の本を見て自分の希望校の偏差値の数値を確認してみましょう。今回のテストが受験案内の本に紹介されている偏差値と同じかそれ以上ならば、合格圏内あることを意味し、自分の偏差値の方が低ければ学力をさらにつける必要があることを自覚する必要があります。



今回の実力試験を各自が客観的に分析して目標に向かって頑張ってください。

三者面談では、この実力テストの結果も資料として検討していきたいと思います。

「授業の受け方」

授業の受け方について、最近思っていることを書きます。最近、地図帳や教科書などを忘れる人が目につくようになりました。「地図帳のP136を見てください。」と指示を出しても地図帳を持ってきていない人は見ることはできません。「岩手、宮城の海岸線を見てください。」自分の目で地図帳を見れば、その海岸線が複雑なことにすぐ気がつきます。「このギザギザした海岸をリアス海岸と呼びます。」実際に地図を見た人は複雑な海岸線を目に焼き付けてそれがリアス海岸であることが理解できます。しかし、地図帳を忘れた人は、実際の複雑な海岸を見ることなしに、ギザギザの海岸をリアス海岸と言葉で覚えているだけです。このような知識は忘れやすいものです。忘れものをせずに、先生の指示にしっかり従って学習を進めることで確実に知識を定着させることができます。指示されたとおりに学習をしっかり受けていきましょう。必ず学力が伸びるはずです。意識してみてください。